Recycling
Company
ALT

2017 環境報告書

株式会社アルト

Amenity Life Together

目　　次

１．はじめに　1

　１－１　緒　言　1

　１－2　対象期間及び対象組織　2

２．事業の概況　4

　2－1　環境管理組織　4

　2－2　事業内容　4

３．事業活動における環境配慮の方針等　7

４．事業活動への環境配慮の組込みに関する目標、計画及び実績等の総括の概要　8

　４－１　産業廃棄物再資源化の推進　8

　４－２　環境負荷の低減　11

　４－３　環境・適正処理に関する情報提供　13

　４－４　社会貢献・CSR　13

５．環境マネジメントシステムの状況　15

６．環境に関する規制の順守状況　16

７．資源・エネルギーの使用の状況　17

８．環境負荷の低減に資する製品等の状況　19

1．はじめに

1－1　緒　言

私の仕事はリサイクル！！を合言葉に。

アルトは、「環境の美化とリサイクルを通じて気持ちの良い街づくりに貢献する」ことを理念とし、廃棄物の再資源化、循環型社会の形成に全力で貢献しております。

近年、廃棄物処理業界を取り巻く環境は大きく変化しております。

その変化に柔軟かつスピーディな対応をとりながら法令と社会規範を順守し、常に高い志と新しい発想や行動力から持続的な成長と競争力の強化により同業他社との差別化も図っております。

これからも、時代や環境の変化に対応し、積極的にチャレンジすることがアルトに求められ、業界のリーディングカンパニーとして活性化や拡大を図るとともに、アルトの強みを活かし真摯な姿勢で事業活動に取り組みたいと考えております。

この環境報告書を作成・公表することは、環境への取組に対する社会的説明責任を果たすとともに、皆様のご意見、ご指導をいただくことが、「株式会社アルト」の環境への取組の改善と社会からの信頼を勝ち得ていくことに大いに役立つと考えます。

2017年５月
環境管理統括責任者
代表取締役　坂下　明義

１－２　対象期間及び対象組織

この環境報告書は、2016 年度の「株式会社アルト」における一般廃棄物収集運搬、産業廃棄物収集運搬、産業廃棄物中間処理及び再資源化事業、建設・解体工事及びこれらに付随するすべての業務の環境に関わる活動について取りまとめたものです。

社　名：株式会社アルト

代表者：代表取締役　坂下　明義

所在地：本社事業所　　富山市水橋市田袋 280
　　針原営業所　　富山市針原中町 491-1

沿革　　1985 年　創業
　　1987 年２月２日 法人設立
　　1992 年２月 富山県産業廃棄物収集運搬業許可取得
　　1996 年９月 富山市産業廃棄物処分業許可取得
　　1997 年２月 株式会社アルトに名称変更
　　2003 年１月 ISO14001 認証取得
　　2004 年 10 月 新社屋,リサイクルプラント A 棟,B 棟稼働
　　2008 年８月　富山県知事建設業許可取得

2009 年２月 リサイクルプラント C 棟稼働
2011 年３月 廃食用油の BDF 化事業を開始
2012 年４月 研究開発室を新設
2013 年７月 グリセリン洗剤 EXALT（エクザルト）製造装置を新設
2015 年 12 月 ISO14001 認証に解体工事部門を追加
2016 年４月 リサイクルプラント B 棟の飲料容器リサイクル施設を更新

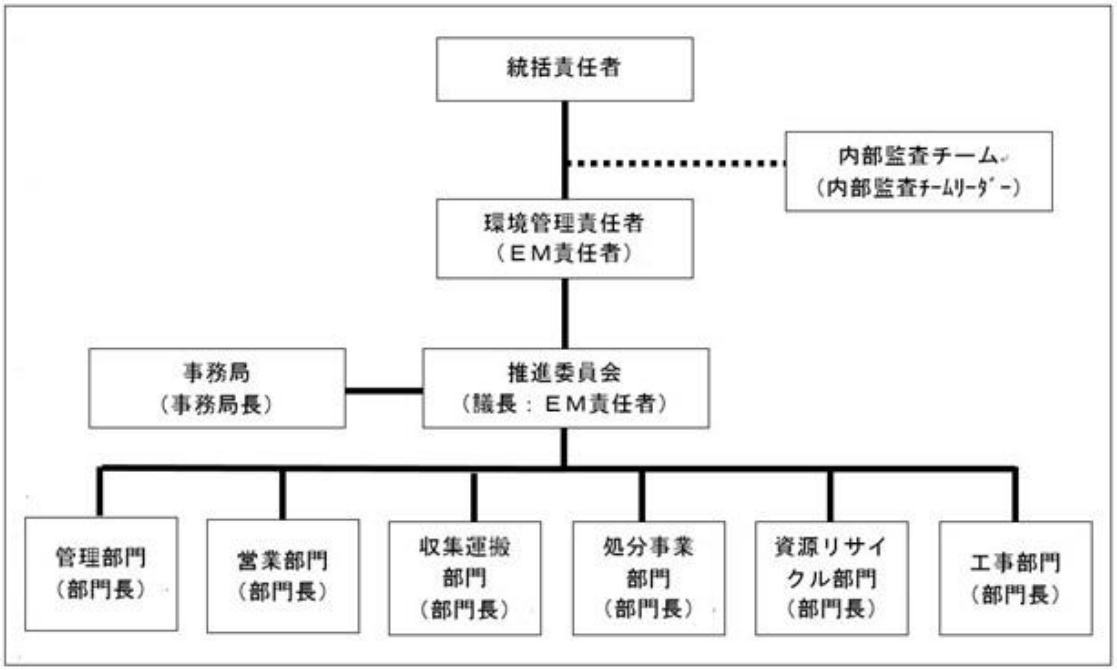
2016 年6月　　健康企業宣言

健康企業宣言

2016 年１２月　ＩＳＯ１４００１／２０１５年版への移行　認証を取得。
2017 年2月　　ペットボトルキャップによる福祉用具支援事業　開始。
2017 年3月　　とやま障害者フレンドリー企業　認証を取得。

2．事業の概況

2－1　環境管理組織



2－2　事業内容

①産業廃棄物収集運搬業

富山県
石川県
福井県
岐阜県
新潟県

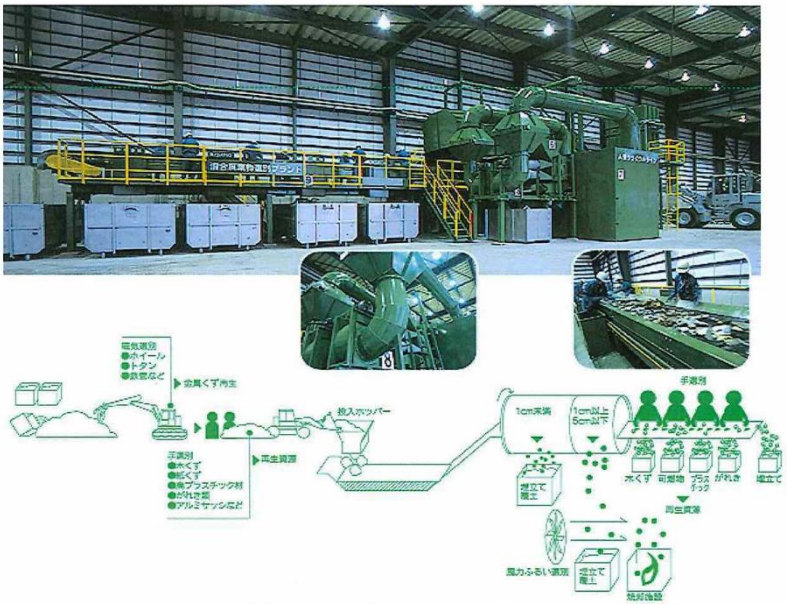
の各県全域で**優良産業廃棄物処理業者**の認定を受け、収集運搬を行っています。

②特別管理産業廃棄物収集運搬業

富山県全域の病院などの医療機関から排出される感染性廃棄物を収集し、焼却施設へと運搬しています。

③産業廃棄物処分業（中間処理）

収集した産業廃棄物を選別、破砕などの処理により資源化しています。



④一般廃棄物収集運搬業

a.市町村委託事業

富山市、舟橋村からの委託により、ごみステーションから、「燃やせるごみ」「燃やせないごみ」「資源物」などの家庭ごみを収集しています。

b.事業系一般廃棄物収集運搬業

富山市　舟橋村　立山町　上市町
滑川市　射水市　砺波市　南砺市
の県内８市町村で一般廃棄物収集運搬業許可により、事業系一般廃棄物の収集運搬を行っています。

⑤資源リサイクル事業

空き缶、ペットボトル、ダンボールなどの資源物を工場・事業場から回収し、再資源化しています。

自治振興会や町内会と契約し、空き缶などの資源物を回収しています。その収益は地域の活動に役立っています。

⑥建設・解体工事業

建築物の解体から建設工事、それに伴う建設廃棄物の処理まで一貫して行います。

3．事業活動における環境配慮の方針等

≪環境理念≫

株式会社アルトは、一般廃棄物及び産業廃棄物収集運搬と産業廃棄物中間処理及び建設・解体工事を通じて地球環境問題に携わる企業であることを認識し、現在までに培った「知識･技術･経験」を活かした事業活動を行います。

また、これらの活動の次世代への継承とその責任に対する取り組みは、資源のリサイクル化を通し、顧客、社会に認められるリサイクル産業を実現し、循環型社会の形成に貢献します。

≪環境方針≫

1．当社の活動に関わる環境側面を常に認識し、環境保全に努めます。
2．環境方針、環境目標を定め、これらを定期的に見直し、環境マネジメントシステムの継続的改善に努めます。
3．当社に関わる環境関連法規、条例、規制等を順守します。
4．以下の項目を環境管理重点テーマとして取り組みます。

① 法的要求事項及びその他要求事項の順守
事業活動に伴う法的要求事項及びその他要求事項を順守し、自主的な管理基準を設定し、更なる環境保全と廃棄物の適正処理に努めます。

② 廃棄物適正処理の具体策
廃棄物の適正処理は、地域環境問題に重要な課題である事を認識し、組織活動を通じて環境負荷の軽減を重視し、選別業務を的確に行う事により廃棄物の削減と有効活用に努めます。

③ 環境保全管理の実施
事業活動において環境目標を設定し、環境マネジメントシステムの継続的改善に努めます。洗車時における水質汚染等の予防、排出積込時及び建設・解体工事の騒音・振動・粉じん発生の抑止、燃料、電力などのエネルギーの削減に努めます。

④ 環境意識の育成
環境分野の専門業として、全従業員一人一人がその課せられた責務を理解し、「環境方針」を教育・訓練により全従業員に周知し環境保全の意識を育成し、また全従業員への環境教育の実施により環境マネジメントシステムの維持向上を図ります。

⑤ 重点対策
排出事業者に向けて環境保全の目的、廃棄物の分別等に関して的確な情報を提供し、排出事業者と共生できる環境活動を行います。

⑥ 奉仕活動の実施
企業活動の一環として地域の美化運動に努め、奉仕活動を通じて地域社会に貢献します。

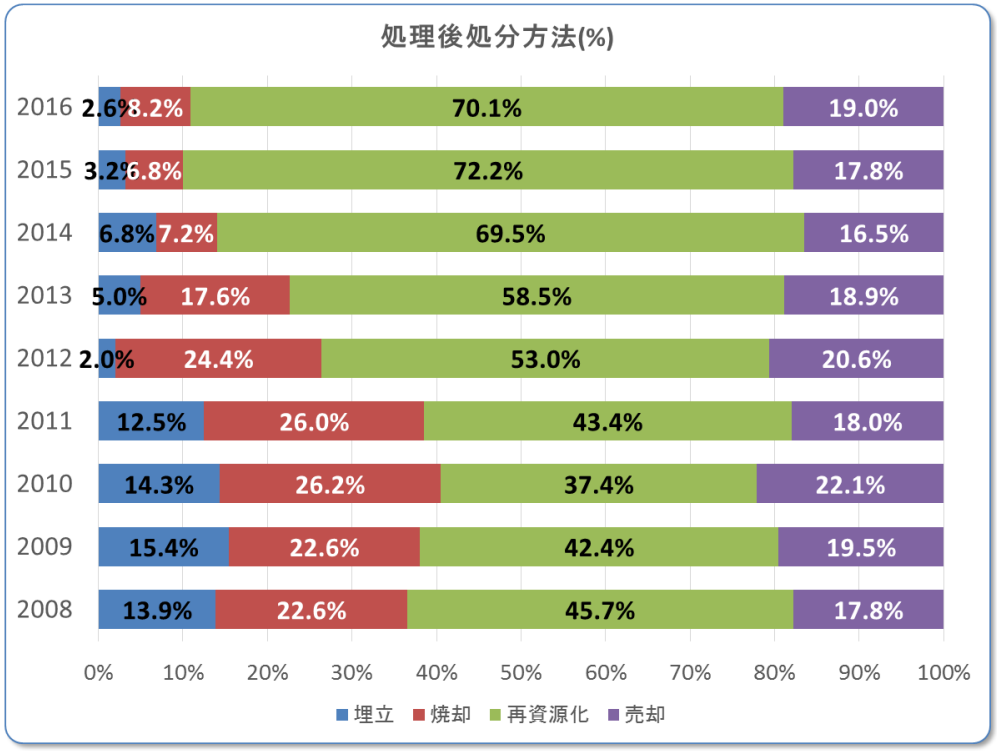
5．環境方針を徹底する為にホームページ上に掲示し、利害関係者からの要求があればこの方針の配布版を提供します。

4．事業活動への環境配慮の組込みに関する目標、計画及び実績等の総括の概要

4－1　産業廃棄物の再資源化推進

①埋立処分量、焼却処理量の削減

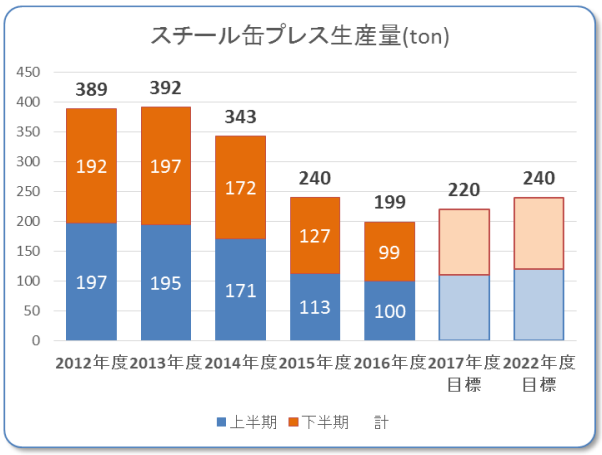
埋立処分量と焼却処理量の削減に努めた結果、2016 年度におけるアルトに搬入された産業廃棄物の処理後処分方法の割合は、再資源化率 70.1%、有価物売却率 19.0%で、これらを合わせると約 90%が資源として生まれ変わっています。



②飲料容器の資源化

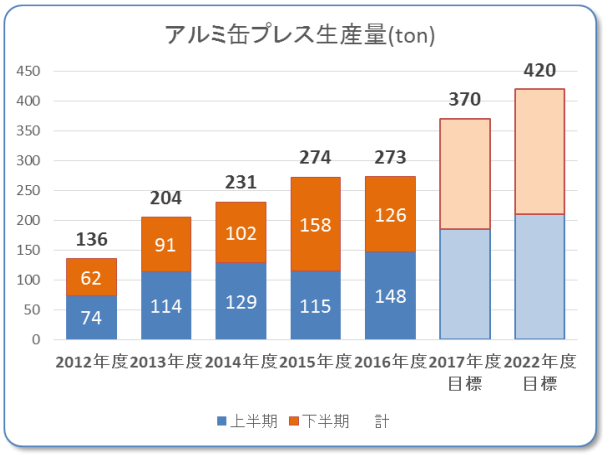
a.スチール缶

近年、スチール缶は、軽量化と飲料缶における割合が小さくなったことにより、スチール缶プレスの生産量は、2014 年度以降減少傾向となっています。



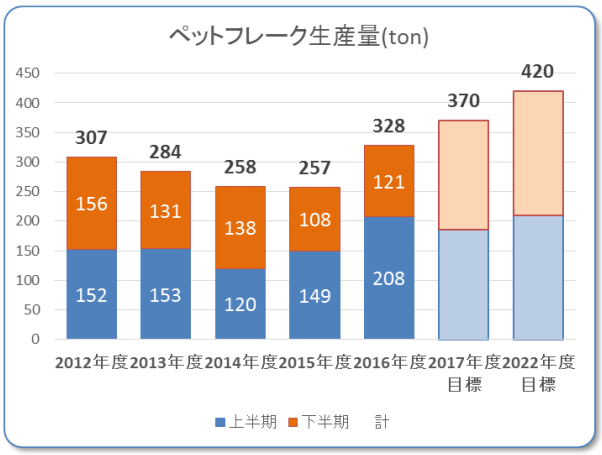
b.アルミ缶

飲料缶におけるアルミ缶の割合は大きくなっていますが、スチール缶と同様にアルミ缶も軽量化が進み 2016 年度においては、アルミ缶プレスの生産量は 2015 年度に比べほぼ同程度となっています。



c.ペットボトル

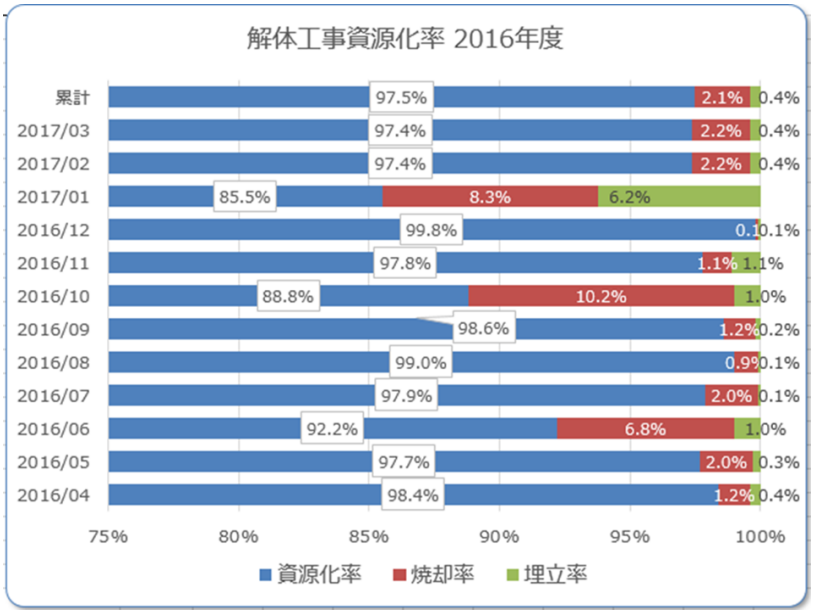
ペットボトルについても軽量化が進んでいますが、営業努力による回収量の増加により、2016 年度の資源化量は 2015 年度に比べ、増加しています。



③解体廃棄物の資源化推進

アルトが施工する解体工事では、資源化率目標を 95%以上に設定し、資源化の推進に取り組んできました。

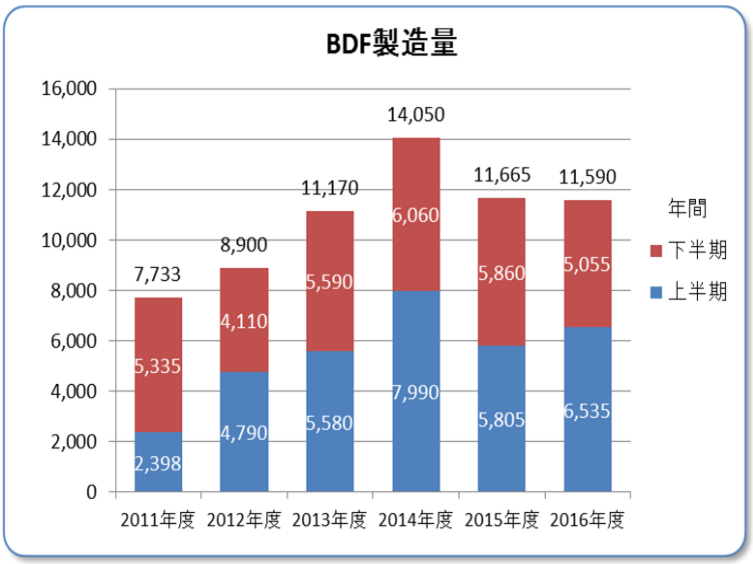
2016 年度においても分別解体を徹底し、混合廃棄物は中間処理で選別を行ったことにより、年間平均で 95%以上を保つことができました。



④廃食用油の BDF（バイオディーゼル燃料）化

BDF 化量は、2011 年度から 2014 年度まで、年々増加していていましたが、2015 年度は BDF 専用車の減車により前年度に比べ減少し、2016 年度もほぼ同程度となっています。

今後は、フォークリフト等の構内車両への BDF 使用を推進します。



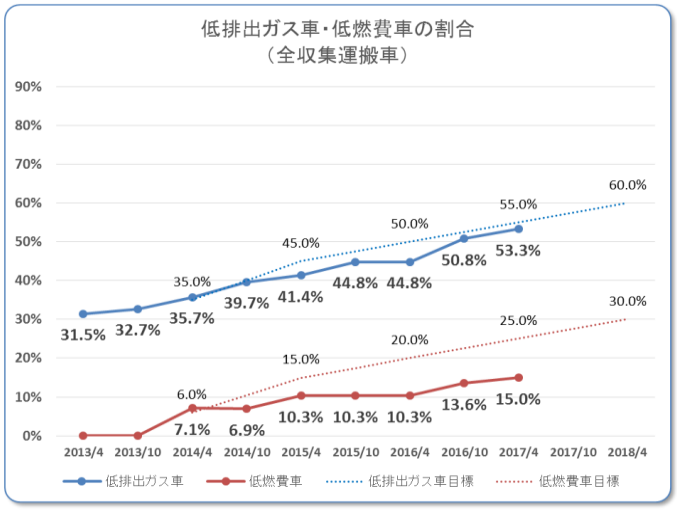
４－２　環境負荷の低減

①低排出ガス車・低燃費車導入による大気汚染の防止

低排出ガス車・低燃費車については、毎年度導入を進め、2016 年度末では低排出ガス車適合が、53.3%となっています。

低燃費車の導入状況については 15.0%となっています。

2022 年度末までの目標を、低排出ガス車 80%、低燃費車 40%としており、この目標達成を目指し、さらに基準適合車の比率を高めていきます。



②解体工事の騒音･振動防止

特定建設作業の場合、敷地境界線において、騒音は 85dB、振動は震度 2（75dB 相当）を超えないことを目標として作業を行ってきました。

住宅地などで敷地境界線と作業場所が近い場合は、できる限り低騒音低振動型工法の採用や作業時間帯を検討し、事前説明を充分に行い、近隣の生活環境に著しい悪影響を与えず、苦情の申し立てがないよう努めています。

③水質汚濁の防止

本社事業所及び洗車場の美化及び排水管理の徹底に努めました。

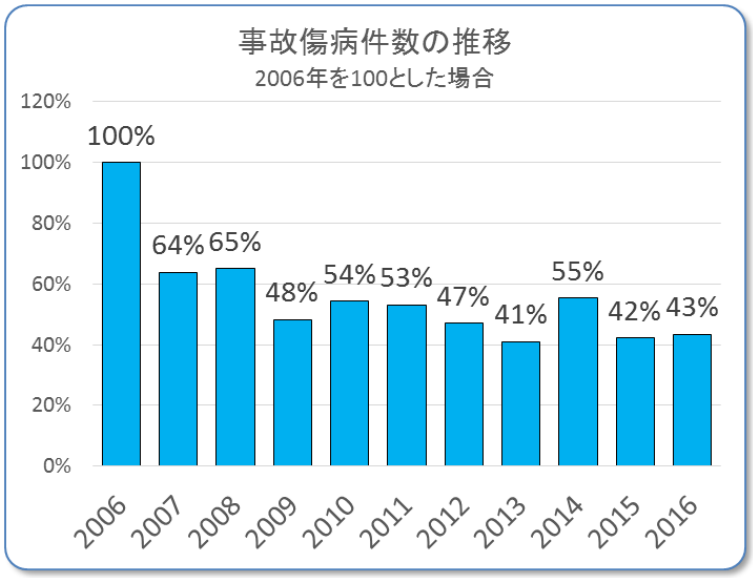
また、水質自主基準を設定し、管理しています。

④事故による環境汚染の予防

交通事故やプラント内での事故により環境が汚染されるリスクを低減するため、事故傷病については、軽微なものを含め、原因を明らかにし、再発防止を図っています。

長期的には、減少傾向にありますが、2016 年度は 2015 年度とほぼ同数の事例が発生しました。

全社員が参加する安全対策の教育・訓練をはじめ、各部門の業務特性や使用車両、使用機械などに応じたリスクアセスメントや部門教育に取り組みます。



４－３　環境・適正処理に関する情報提供

①優良産廃業者の情報公開

優良産廃業者の認定条件では、情報公開の定期的更新が求められており、産廃情報ネットでの内容更新をおこなっています。

併せて「活かそう資源プロジェクト」や「優良さんぱいナビ」に情報公開し、より幅広い皆様への情報提供に努めています。

②ホームページの活用

ホームページ訪問数は、月平均 1,000 件を超え、多くの人に閲覧していただいています。

ホームページから問い合わせいただいた中には、契約に結び付いたものも多くあり、廃棄物処理業者を選考する際に、インターネットを活用する排出事業者が増えていることがうかがえ、さらに情報提供の内容を充実していきます。

４－４　社会貢献・CSR

①プラント見学会を通じての社会貢献

排出事業者の処理施設確認や小学生の環境学習など、2016 年度は 31 団体 372 名の見学者が来社されました。

見学者の年齢、ニーズに合った説明をビデオ、デモストレーション等で行い、説明担当者の研修にも努め、わかりやすい内容となるよう工夫しています。

②奉仕活動

善意銀行への募金活動や、毎年５月30 日のごみゼロの日の美化清掃活動などを行っています。

③ペットボトルキャップによる福祉用具支援事業

ペットボトルキャップ回収事業を、より積極的に取組み、ご協力いただいている地域の皆さまの善意を、より確実に必要とされている方々に直接お届けするため、「株式会社アルト」独自の活動として 2017 年２月より「ペットボトルキャップによる福祉用具支援事業」を実施しています。

第１回目の福祉用具支援として、2017 年３月、富山市社会福祉協議会と立山町社会福祉協議会へ車椅子各１台を寄贈しました。

④自治振興会等が行う資源回収への協力

富山市内の自治振興会や町内会と契約し、空き缶回収をしています。

収益は、実施団体に還元され地域の活動資金となっています。

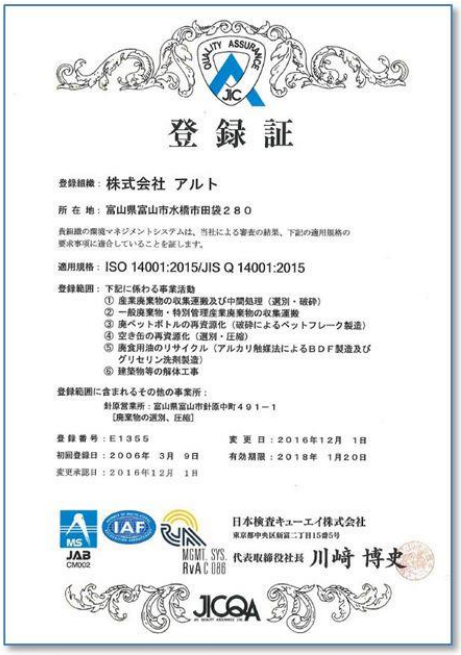
5．環境マネジメントシステムの状況

株式会社アルトにおける環境マネジメントシステムは、2003 年 1 月に ISO14001 の認証を取得してから 14 年余りが経過し、この間、本社移転、リサイクルプラントの増設及び工事部門の追加登録等の様々な課題に取組んで来ました。

これらの課題に対して、環境マネジメントシステムを引き続き、適切、妥当かつ有効に運用してきた結果として、廃棄物処理業の大きなリスクである環境汚染や事故発生を未然に防止することができました。

また、リサイクル推進により循環型社会の形成に貢献し、奉仕活動、プラント公開、環境教育にも積極的に取り組んだことにより、社会的にも評価されるようになりました。

ISO14001 は、2015 年に大幅な改正が行われ、3年以内に新基準に適合するよう求められていましたが、2016 年 12 月 1 日付けで、ISO14001/2015 年版への移行が承認されました。今後も、新規格に準拠し、より充実した環境への取り組みと継続的改善に努めてまいります。



登 録 証

登録組織：株式会社 アルト

所 在 地：富山県富山市水橋市田袋２８０

貴組織の環境マネジメントシステムは、当社による審査の結果、下記の適用規格の要求事項に適合していることを証します。

適用規格：ISO 14001:2015/JIS Q 14001:2015

登録範囲：下記に係わる事業活動
① 産業廃棄物の収集運搬及び中間処理（選別・破砕）
② 一般廃棄物・特別管理産業廃棄物の収集運搬
③ 廃ペットボトルの再資源化（破砕によるペットフレーク製造）
④ 空き缶の再資源化（選別・圧縮）
⑤ 廃食用油のリサイクル（アルカリ触媒法によるＢＤＦ製造及びグリセリン洗剤製造）
⑥ 建築物等の解体工事

登録範囲に含まれるその他の事業所：
針原営業所：富山県富山市針原中町４９１－１
【廃棄物の選別、圧縮】

登録番号：E1355　　変更日：2016年12月 1日
初回登録日：2006年 3月 9日　　有効期限：2018年 1月20日
変更承認日：2016年12月 1日

日本検査キューエイ株式会社
東京都中央区銀座二丁目15番5号
代表取締役社長 川﨑 博史

6．環境に関する規制の順守状況

環境関連法令に違反し、行政処分や指導を受けた事例はありませんでした。

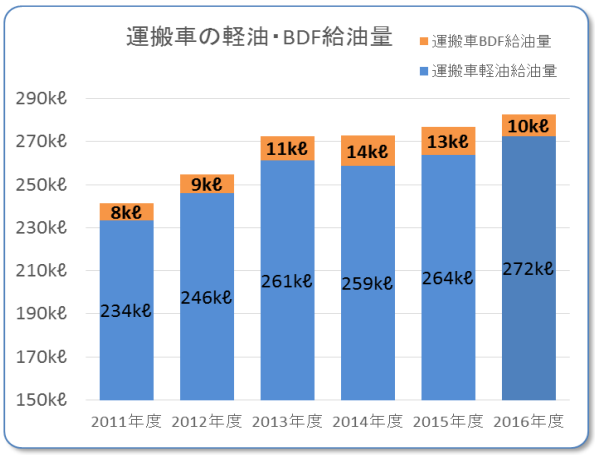
また、規制基準が適用されない排出水についても、自主基準を設定し、これを順守しています。

7．資源・エネルギーの使用状況

①燃料消費量

低燃費車の導入やＢＤＦ（バイオディーゼル燃料）専用車、リサイクルプラント内で使用するフォークリフトへの BDF 使用により化石燃料消費の抑制に努めています。

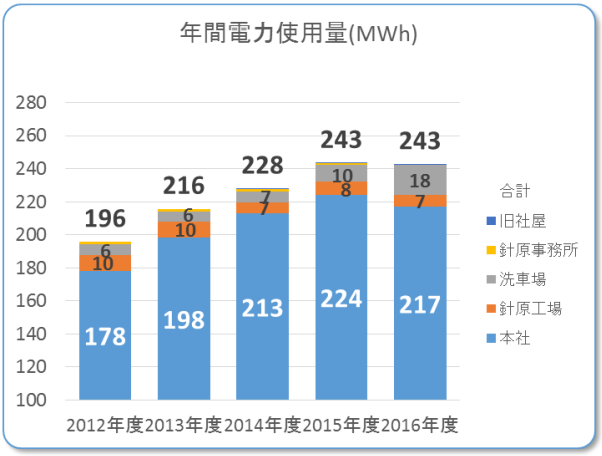
2016 年度は業務の増加等により、運搬車への軽油給油量は、増加しました。



②電力消費量

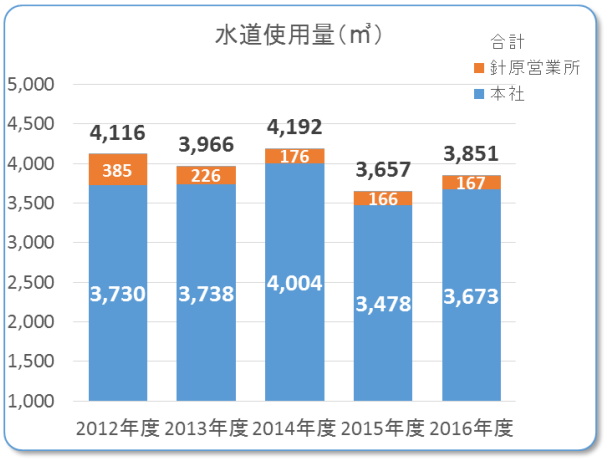
株式会社アルト全体の電力消費量は、2016 年度において 242,709kWh/年 となっており、一般家庭の約 68 世帯分の電力消費量に相当します。

2015 年度までは増加傾向でしたが、2016 年度は、前年度なみとなっています。2017 年度からは、本社でデマンド監視サービスを導入するなど、照明、空調、生産設備などの使用状況を見直し、無駄の削減に努めています。



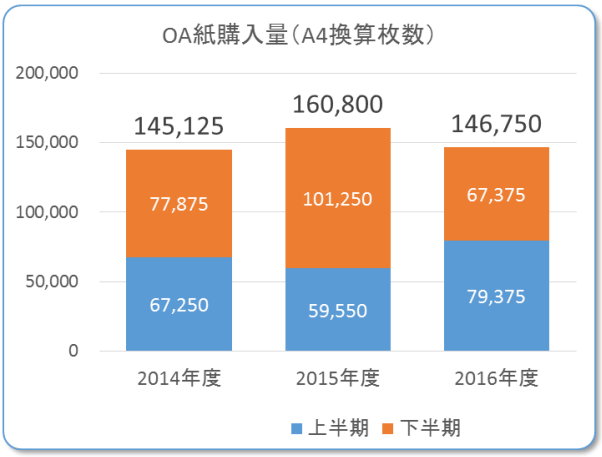
③水道使用量

ペットフレーク洗浄水を循環使用し、水道使用量の削減に努めましたが、2016 年度の水道使用量は、3,851㎥/年で、2015 年度に比べ約 5%増加しました。



④OA 用紙購入量

OA 用紙購入量は、両面印刷、裏面利用等に努め、2016 年度は、146,750 枚となり、2015 年度に比べ減少となりました。



8．環境負荷の低減に資する製品等の状況

廃食用油からＢＤＦ（バイオディーゼル燃料）を製造する際に発生する廃グリセリンを利用した洗浄剤 EXALT（エクザルト）を製造・販売しています。

EXALT（エクザルト）は、富山県リサイクル製品の認定を受けています。

富山県リサイクル製品認定シンボルマーク

Amenity ここち良い　Life 暮らしを　Together 共に

この報告書に関するご意見、お問い合わせは下記までお願いします

株式会社アルト 環境部
富山市水橋市田袋 280
電話番号　076-478-5388
FAX 番号 076-478-5322
E-mail: recycle@alt-mizuhashi.com